

|                              |    |     |    |      |
|------------------------------|----|-----|----|------|
| 人間社会学部／<br>地域社会コース・総合人間社会コース | 職名 | 准教授 | 氏名 | 坂無 淳 |
|------------------------------|----|-----|----|------|

## 1. 教員紹介・主な研究分野

私の研究分野は社会学とジェンダー研究です。現在の具体的な研究テーマとしては、1 つめに高等教育と専門職におけるジェンダー平等についてです。研究者など複数の専門職を取り上げ、キャリア各段階でのジェンダー差やワーク・ライフ・バランスについて研究しています。2 つめに、コミュニティと子育てについてです。日本の共同保育の事例やイギリスでのコミュニティ開発についても研究をしています。3 つめに、大学教育における学生の主体的な参加を促す技法についてです。これまで学生が実際にデータを集め分析する科目を教えてきました。他科目でもファシリテーションなどの手法を取り入れています。

## 2. 研究業績

### ① 最近の著書・論文

- ・ 坂無淳, 2024, 「公的統計からみる日本の専門職と性別職域分離」『福岡県立大学人間社会学部紀要』32(2): 31-41.
- ・ 坂無淳, 2022, 「キャリアとワーク・ライフ・バランス——家事・育児とジェンダー」櫻井義秀編著『ウェルビーイングの社会学』北海道大学出版会, 145-62.
- ・ 坂無淳, 2022, 「シンガポールの教育・子育てに関する政策と価値観」田村慶子・佐野麻由子編著『変容するアジアの家族——シンガポール、台湾、ネパール、スリランカの現場から』明石書店, 51-75.
- ・ 佐野麻由子・坂無淳・田代英美・佐藤繁美, 2022, 「公共社会学科における高大連携授業の実践——鞍手高校 SGH 事業への参加とその効果」『福岡県立大学人間社会学部紀要』30(2): 67-76.
- ・ 坂無淳, 2022, 「大学院生の悩みとメンタルヘルス——ジェンダーの観点からの統計分析と支援策の検討」『福岡県立大学人間社会学部紀要』30(2): 1-18.
- ・ 坂無淳・平林真伊・河野銀子, 2021, 「シンガポールの高大接続と STEM 分野への女子の進学——大学入学基準と GCE—A レベルの数学の分析を中心に」『福岡県立大学人間社会学部紀要』30(1): 51-61.

### ②その他最近の業績

#### 〈学会発表・研究会〉

- ・ 坂無淳, 2023, 「シンガポールの高大接続の特徴と女性の STEM 専攻——学生・卒業生・大学教員へのインタビュー調査から」課題研究発表: 女子の理系進路選択拡大に向けた STEM 分野の高大接続, 日本科学教育学会第 47 回年会 (於愛媛大学), 9 月 18 日.
- ・ 坂無淳, 「第 2 章 シンガポールの教育・子育てに関する政策と価値観」『変容するアジアの家族』出版記念セミナー (於北九州市立男女共同参画センター・ムーブ), 5 月 15 日.

- ・ 坂無淳, 2021, 「専門職とジェンダー・ステレオタイプ——大学教員は男性向き・女性向き職業と考えられているのか」 広島大学高等教育研究資源ナショナルセンター2021年度公開研究会（於広島大学（オンライン））, 7月31日.

〈報告書・書評・評論・エッセイ〉

- ・ 坂無淳, 2023, 『高等教育におけるジェンダー・バランスの不均衡とその是正に関する実証研究』 2018-2022年度科学研究費補助金研究成果報告書（18K12939）, 福岡県立大学.
- ・ 坂無淳, 2023, 「2022年度KFAWアジアジェンダー研究者ネットワークセミナー 第2章 シンガポールの教育・子育てに関する政策と価値観——メリトクラシーとジェンダーの観点から」 『アジア女性研究』 32: 25-6.
- ・ 坂無淳編, 2023, 『福岡県内の自治体における男女共同参画の状況に関する調査——田川市での行政・団体への調査から』 報告書』 福岡県立大学人間社会学公共社会学科.
- ・ 坂無淳編, 2022, 『「大学の男女共同施策の実態と課題に関する調査」 報告書』 福岡県立大学人間社会学部坂無淳.

### ③過去の主要業績

- ・ Bolton, Matthew, 2018, *How to Resist: Turn Protest to Power*, London: Bloomsbury Publishing. (藤井敦史・大川恵子・坂無淳・走井洋一・松井真理子訳, 2020, 『社会はこうやって変える!——コミュニティ・オーガナイズング入門』 法律文化社.) 翻訳担当: 第4章, 第6章, 第7章
- ・ 坂無淳, 2015, 「大学教員の研究業績に対する性別の影響」 『社会学評論』 65(4): 592-610.
- ・ 坂無淳, 2014, 「都市における保育の共同——埼玉県新座団地の共同保育の事例から」 『立教大学コミュニティ福祉研究所紀要』 2: 61-80.

### 3. 外部研究資金

科研費, 基盤C (研究代表者), 現代日本の専門職化と性別職域分離に関する社会学的研究, 4420千円, 2023~2027年度

科研費, 基盤B (研究分担者, 研究代表者: 宇井美代子), 人文社会科学系研究者のジェンダー平等の実態と改善に関する研究, 9620千円, 2022~2024年度

科研費, 基盤B (研究分担者, 研究代表者: 河野銀子), 女子の理系進路選択拡大に向けたSTEM分野の新たな高大接続モデル——4か国比較から, 15470千円, 2019~2023年度

科研費, 基盤C (研究分担者, 研究代表者: 大久保淳子), プログラミング的思考の育成カリキュラムの開発——就学前~小学校の接続を焦点として, 3510千円, 2018~2023年度

### 4. 受賞

## 5. 所属学会

日本社会学会, 日本ジェンダー学会, 日本教育社会学会, 北海道社会学会, 西日本社会学会, ISA (International Sociological Association), RC32 Women, Gender, and Society, RC04 Sociology of Education

## 6. 担当授業科目

データ分析の基礎・2単位・1年・前期, 教養演習・1単位・1年・前期, 統計学・2単位・1年・後期, 社会統計学Ⅰ・2単位・2年・前期, 社会統計学Ⅱ・2単位・2年・後期, ジェンダー論・2単位・3年・前期, 公共社会学研究Ⅰ・Ⅱ・各1単位・3年・前後期, 社会福祉学演習・2単位・3年・通年, 演習・2単位・3年・通年, 卒業論文・6単位・4年・通年

## 7. 社会貢献活動

飯塚市男女共同参画推進委員会委員

福岡県福智町男女共同参画審議会委員

広島大学高等教育研究開発センター客員研究員

田川市男女共同参画センター運営委員・ゆめっせフェスタ実行委員

## 8. 学外講義・講演

坂無淳, 2023, 「男の子にも女の子にも聞いてほしいジェンダーの話——個人の生活と社会の問題をつなぎ, 今と未来を少しずつ変えるために」チェリアフェスティバル山形 2023 講演会, 主催 チェリアフェスティバル山形 2023 実行委員会・山形県男女共同参画センター((公財)山形県生涯学習文化財団)・山形県(しあわせ子育て応援部多様性・若者活躍課)(於遊学館), 10月8日.

## 9. 附属研究所の活動等